

## 琉球大学 島嶼防災研究センター

# 巨大津波によるエコシステムの被害とそのリカバリーに関する講演会

**趣旨:** 我が国では、どこに住もうと地震、台風、火山の爆発などによる自然災害から逃れることはできません。ではそうした災害は環境にどのような影響を与え、さらに我々の生活や社会をどのように変えてきたのでしょうか。そして、そこから我々は何を学ぶべきなのでしょうか。本シンポジウムでは地震と津波に焦点をあて、2004年12月のスマトラ島沖地震、2011年3月の東北地方太平洋沖地震直後の生々しい状況とそこから回復過程を観察してきた研究者の声を届けます。

**開催場所:** 地域創生総合研究棟 多目的ホール (1F)

**開催日時:** 2020年3月3日(火) 13:30~15:40

**主催:** 琉球大学島嶼防災研究センター

**定員:** 60名

## プログラム

13:30 ~ 13:35 **開会あいさつ:** 木暮一啓 (琉球大学 理事・副学長)

13:35 ~ 14:15 **東日本大震災で何が起きたのか、震災復興プロジェクト「TEAMS」の活動とは:** 木島明博 (東北大学教授 東北マリンサイエンス拠点形成事業代表機関代表研究者)

14:15 ~ 14:45 **2011年東日本大震災: 女川湾における生態系動態とハビタットマップの構築:** 藤井豊展 (東北大学准教授 マリンサイエンス復興支援室)

14:45 ~ 15:25 **2004年スマトラ沖巨大津波によるエコシステムの被害とそのリカバリー:** 藍檀オメル (琉球大学教授 島嶼防災研究センター長 / 工学部社会基盤デザインコース)

15:25 ~ 15:40 **自由討論・質疑 / 閉会**  
**司会:** 松原 仁 (社会基盤デザインコース 准教授)

